

学校名	福島県立あぶくま養護学校	校長	渡邊 恵一
住所	郡山市中田町赤沼字杉並139番地		
TEL	024(956)1910	ホームページアドレス	http://www.abukuma-sh.fks.ed.jp

地域とともに

あぶくま養護学校は、郡山市東部に位置する中田町にあり、平成6年に開校、創立19年という、まだ歴史の浅い学校です。中田町は、木々に囲まれた自然豊かな所です。地域の方々がいつも温かく見守り、児童生徒に声をかけてくださいます。開校以来、地域の方々との交流活動は、地域文化祭への児童生徒の作品展示、地元の敬老会とのグランドゴルフ、地元海老根和紙保存会の皆さんとの紙漉体験、教師の地域家庭バレーボール大会への参加、地域の駅伝競争大会への参加など、地域の方々とは、多岐にわたる交流活動をさせて頂いております。今回は、駅伝競争大会と紙漉体験の様子をお知らせします。

中田地区駅伝競走大会への参加

毎年11月23日に行われる中田地区駅伝競走大会は、今年で58回目という歴史のある大会で、本校は平成12年より参加しています。初めのうち、教員のみ参加でしたが、近年は、高等部の生徒たちがチームを組んで参加できるようになり、今年是一般の部で念願の初優勝を果たすことができました。日頃の部活動や体育の時間に鍛えた体力と練習の成果を十分に発揮し、達成感を得るとともにチームワークの大切さを学ぶことのできる素晴らしい地域交流活動となっています。



**頑張りました! 初優勝おめでとう!
地元の婦人会で作ってくたさった豚汁が最高でした!**

海老根和紙の紙漉体験交流



**紙漉は、寒い環境が当たり前!
紙漉の面白さと大変さを感じます!**

海老根の紙漉きは、明暦4年(1658年)頃から始められたと伝えられています。

本校の卒業証書は、高等部開設当初から地域の「海老根和紙」を使用したものとなっており、自分たちの手にする卒業証書への愛着を持つことを期待して、高等部3年生は、紙漉きの体験学習を行っています。近代的で便利なものに囲まれている生徒たちにとっては、見たこともない昔からの道具を使った紙漉き作業の体験に強い衝撃を受ける様子で、苦勞して作り上げるだけに感激も大きいようです。